

春ですねえ！ 暖かくなってくると、やっぱり桜が待ち遠しい今日この頃...

そして新学期もはじまります。今年はどうな楽しいこと&出会いが待ってるかな？

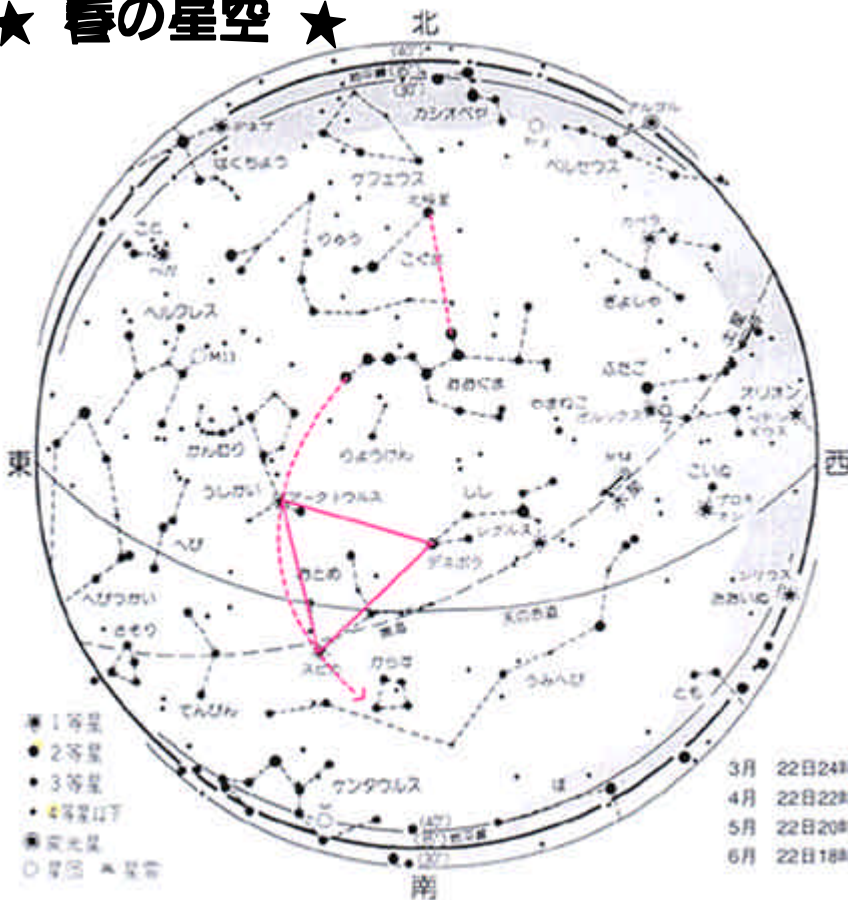
★ ラインナップ ★

春の星空 -りょうけん座-

小惑星に注目！

プラネタリウム春番組のお知らせ -火星 2003 年史上最大の大接近-

★ 春の星空 ★



冬の星座が西に傾くと、春の星座が昇ってきます。春で有名な星座といえば、しし座やおとめ座、そしてうしかい座。では、これらの星座を探す方法をご紹介します。

まず、北の空にある大きなひしゃく、北斗七星の柄のカーブにそっていきくと、その先には、オレンジ色に輝く1等星、うしかい座のアークトゥルスがあります。これをさらに延ばすと今度は青白い1等星、おとめ座のスピカがあります。スピカの先には4つの星が四角形をかたどったからす座があります。からす座は、まわりに目立った星の並びがないので、春の夜空では比較的目立つ星座ですが...あれ？ からすってそういえば真っ黒な鳥なのに、なんで夜

空でも見えるんでしょう...？ 実はこのからす、とってもおしゃべりで、ついつい余計なことを告げ口してしまったために、怒ったアポロンによって杭(くい)で天に貼り付けられてしまったんだとか。なので、4本の杭(くい)だけが春の空に輝いて見えているのです。こんなからす座とは逆に、おとめ座は大きな星座の割には明るい星が少なく、まったく目立ちません。この控えめなところが乙女らしい...のかもかもしれませんね。うしかい座は自分の牛を大熊から守ろうと、北極星のまわりをグルグル回っています。この、北斗七星からからす座にそったカーブは「春の大曲線」と呼ばれています。

流星群でも有名なしし座の胸の部分で明るく輝くのが1等星レグルス、尻尾の先で輝くのが2等星のデネボラです。このデネボラと、うしかい座のアークトゥルス、おとめ座のスピカ、の3つの星を結んでできる三角形を「春の大三角形」と呼び、さらに、りょうけん座の星コル・カロリを含めると、「春のダイヤモンド」ができあがります。

しょくむたいまん

職務怠慢な(?)りょうけん座

うしかい座のすぐ横には、共に大熊を追いかける二匹の猟犬がいます。猟犬というと強そうなイメージがあると思いますが、実はこの二匹、そんなに強くはないのです。りょうけん座をかたどる星は、3等星と4等星の暗く目立たない星。これでは熊に襲いかかる猟犬の迫力はまったく感じられません。むしろこの二匹、うしかい座と大熊の追いかけてこにイロを添えるマスコットキャラといった方が正しいかもしれません。猟犬とはいえやはり犬。自分たちもご主人様といっしょにかけっこをするのが楽しいのかもしれないね。

さて、りょうけん座の見つけ方ですが、目立つ星がないので、うしかい座と一緒に見るのがオススメです。うしかい座の左手は、二匹の猟犬に手綱を持っています。その先に「コル・カロリ」という、3等星の二重星があります。これはイギリスの国王「チャールズ二世の心臓」という意味。コル・カロリはチャールズ二世が王位に就いたことを記念して、ハレー彗星で有名なイギリスの天文学者エドモンド・ハレーが命名したといわれているのです。

ところで名前といえば、この二匹の猟犬にもそれぞれ名前があります。先ほど説明したコル・カロリは星、星はカラと呼ばれていますが、このカラというのは南側の犬の呼び名で「かわいい犬」という意味。対して北側の犬の名前はアステリオンと呼ばれ、「輝く星」を意味します。しかし、北側の猟犬にはアステリオン(輝く星)にふさわしい星はありません。どうせなら、星と星を二匹の犬に見立てて、星がアステリオン、星がカラ、と呼ぶほうがあっているような気がします。



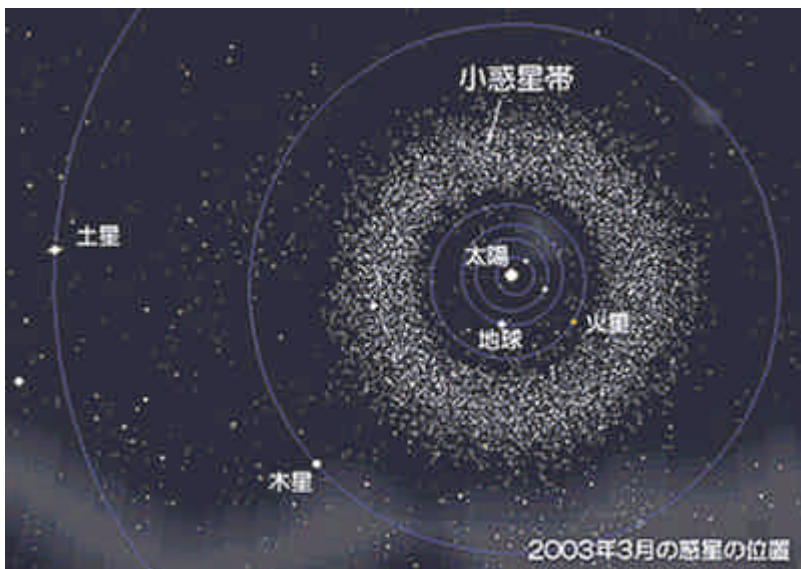
★ 小惑星に注目! ★

みなさん、小惑星って知っていますか？惑星なら知ってるけど・・・と首をかしげる人もいるかもしれませんね。けれど最近、小惑星はけっこう注目を集めている天体なんです。

小惑星ってなあに？

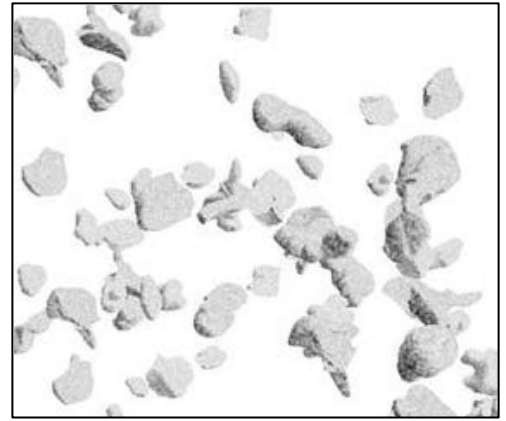
小惑星は、太陽の周りをまわる岩の固まりです。その多くは、火星と木星の軌道の間にある、小惑星帯と呼ばれるところにあります。大きさは直径数～数十kmのものがほとんど

で、現在、軌道が確定している小惑星だけでも5万個以上、まだ確定していない&見つからないものも含めると、何百万個もの小惑星が存在すると考えられています。



どうやってできたの？

詳しいことはまだ良くわかっていませんが、小惑星は惑星になりそになった小さな天体（微惑星）だ、とか、惑星が大きくなっていく途中に、惑星同士の激しい衝突によってできた破片だ、とかいろいろな説があります。そのほかのいろいろの特徴から、小惑星は太陽系が誕生した約 46 億年前の情報を比較的よくとどめている天体、いわば原始太陽系の化石であるともいわれているんです。...ということは、詳しく調べると太陽系ができた頃の様子がわかるかも？



<小惑星のイメージ図：小さな岩がいっぱい>

誰が発見したの？

最初の発見は 1801 年 1 月 1 日のこと。イタリアのシチリア島にあるパレルモ天文台で、ジュゼッペ・ピアッツィによって観測されました。この小惑星第 1 号には、シチリア島を守る女神にちなんで「セレス」という名前がつけられました。セレスは今まで発見された小惑星の中でも一番大きく、その直径は 1000km 近くあります。1807 年までにはパラス、ジュノー、ベスタという大きな小惑星が発見され、4 大小惑星と呼ばれるようになりました。その後、観測技術が良くなるに従って、小さな暗い小惑星が次々と発見され、現在に至っています。

小惑星の名前

発見されて軌道が確定した小惑星は、登録番号やその発見日時を表す仮符号がつけられます。例えば 1982 年 12 月 13 日に発見された小惑星は、1982 XQ₁ (9293)。数字は年、アルファベットは月と、その月に発見された何番目の天体かを表し、() 内の数字は確定した小惑星の通し番号です。

(9293) Kamogata = 1982 XQ₁

Discovered 1982 Dec. 13 by H. Kosai and K. Hurukawa at the Kiso Station of the Tokyo Astronomical Observatory.

With the neighboring town of Yakage, the town of Kamogata borders the Okayama Astrophysical Observatory, National Astronomical Observatory of Japan.

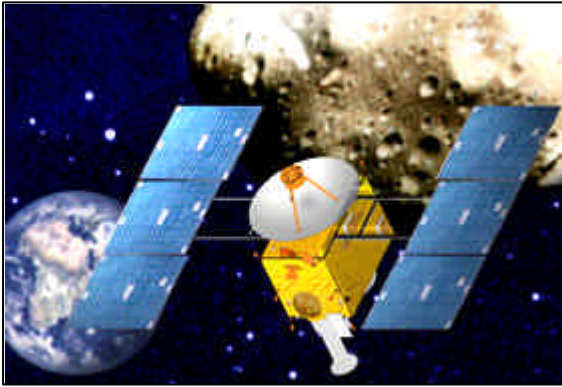
by The MINOR PLANET CIRCULARS(M.P.C.) 2003 JAN. 6

さらに発見者はその小惑星に名前をつけることができます。名前は「人名」「地名」なんでも OK！その申請が国際天文学連合で認められると、晴れて小惑星に名前がついた、ということになります。実は日本や岡山に関係する名前もけっこうたくさんついているんですよ。例えばわが町“Kamogata (鴨方)”もそのひとつ。この名がついた小惑星は、2003 年 1 月 6 日に発行されたサーキュラーに、上のようで紹介されました。いつかあなたの名前も...？（名前のリストは博物館で展示してます！）

小惑星から地球を守る！？

ここ数年、新聞やニュースで「小惑星が地球にニアミス！？」という記事が発表されました。えっ、まさか...と思いがちですが、実は地球のすぐ近くを通り過ぎたり、軌道をそれて地球に向かい、衝突する可能性がある天体があるんです！例えば大昔にたくさんいた恐竜たちも、この小惑星衝突によって滅亡してしまったとか...

こんな話を聞くとちょっとドキドキしますが、そんな小惑星や小天体を事前に見つけるために、世界中でリレー形式に観測が続けられています。観測は夜にしかできないので、朝になるとこれから夜になる国へバトンタッチするんですね。日本では岡山県美星町に設置されたスペースガードセ



< ミューゼズC (予想図): 宇宙科学研究所提供 >

ンターで観測が進められています。

小惑星探査

今年 2003 年 5 月、日本の宇宙科学研究所は M-V ロケット 5 号機を打ち上げます。このロケットに積まれているのが、「小惑星探査機・ミューゼズC (Muses-C)」です。世界で初めて小惑星のサンプル(地面の土など)を地球に持ち帰る“サンプルリターン”に挑戦するミューゼズCは、2005 年夏には地球の側にいる目標の小惑星へ到着し、

数ヶ月間の調査のあと、サンプルを採取して地球へと戻ってきます。帰還は 2007 年夏の予定、待ち遠しいですね。

ところでこのミッションでは、『星の王子さまに会いに行きませんか』というキャンペーンが企画されました。これは私たち天文ファンの名前を小惑星へ持っていこう! というもの。世界中から応募された 88 万もの人々(もちろん私たち、博物館のスタッフも応募しました)の名前が彫られたメタル箔は、ミューゼズCに載せられて小惑星へと届けられます。自分たちの名前が宇宙に向かってる...と思うと、なんか不思議だけど、うれしいんですよねー(笑)。打ち上げが成功したら、そのメモリアルプレートも届く予定。届いたら博物館にも展示するので楽しみに!

プラネタリウム春番組 3/15 から投映中!

火星-2003 年・史上最大の大接近-

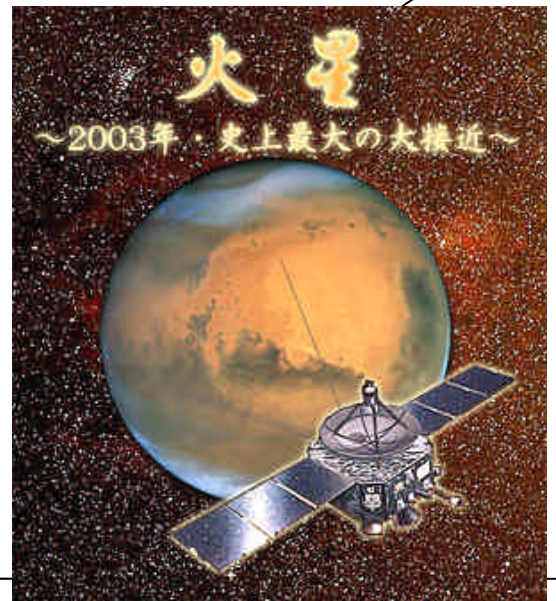
ここ数年、夏になるとその赤く輝く姿を楽しませてくれている火星が、いよいよ今年の夏、地球に大接近します! 軌道の計算によると大接近は 79 年ごとに起こる現象ですが、今回は特に大接近で、こんなに近くで火星を見れるのは、今後、数百年はないとか!?

8 月 27 日に迎える火星大接近。それはいったいどんな現象なのか?

そのとき火星はどんなふうに見えるのか?

そして火星はいったいどんな星なのか...?

などなど、クイズも交えながらテンポ良くご紹介します。



< 編集後記 >

博物館に来るようになってはや一年。「博物館通信」も書かせていただき、犬(りょうけん座)の絵も描きました。この絵に至るまで約二時間...。今度描く機会があったらもう少しうまく書きたいです。taizou 春ですね! 春といえば新学期ということで、博物館では新しいイベントや講座の準備をしています。興味のある方はぜひホームページや広報誌などを見てね! ご参加お待ちしております。 Yumi

この博物館通信は、岡山天文博物館が作製しています。次回夏号は、7月発行予定です。

岡山天文博物館 浅口郡鴨方町本庄3037-5 TEL・FAX 0865(44)2465 休館日: 月曜・祝日の翌日

博物館ホームページ <http://www.rweb.ne.jp/astro/index.html>